

8月17日よりスト権投票実施

全支部は目の色を変えて100%達成をかちとれ！

第13回支部代表者会議開催 8/4

勤労千葉は、八月四日、第十四回支部代表者会議を開催し、強制出向攻撃粉碎のためのスト権一票投票一〇〇%達成へ全支部が全力をあげて取り組むことを確認した。八月十七日から実施されるスト権一票投票の大成功を全組合員の総決起でかちとろう。

一票投票成功はストに匹敵する

われわれは、七月十八日の臨時委員会で、強制出向攻撃に対してはストライキも辞さず闘うことを決定した。

スケジュールとしては、八月十七日からスト権確立の一票投票を実施することとする。

今回のスト権一票投票というのは、単にストライキを行うための方便だとか労組法に定められているから、というものではない。これを成功させることは、ストライキを実際に行使することに匹敵する、あるいはそれ以上の重要な取り組みになってきている。ストライキを一波か二波うちぬくよりも意味をもっているのだ。

つまり、一票投票が成功するかどうか当局との力関係を決めていくのだ。

理不尽な攻撃にはストライキを

四月一日以降も労働組合を潰すために差別・選別攻撃、職場での組合活動を否定していくという攻撃が続けられてきた。

こういう状況の中で、労働者として当然の権利を主張し、そのためにはなんとしてもこの攻撃を粉碎し、職場に労働組合運動を新たな形で創りあげなければならない。

八月五日の青年部交流会に、敵は一〇〇名を動員して一步も入れないという体制を組んできた。

スト権投票の過程は、こういう闘いと結合して投票を成功させることが重要になってくる。

敵との力関係においても、強制出向という理不尽極まりない人間をボロ雑布のごとく扱うことに対してストライキで闘う以外にないのだ。このことが成功するという意味ははかり知れない影響力を含むことになるのだ。

スト体制で業務命令粉碎へ

このことは特に、組合活動が公労法当時と違い自由になる。争議行為も認められ、ストを理由にして差別・選別を行ったら会社側が不当労働行為になる。これは法的にも明らかにしているのだ。だから当局も、日常的に差別・選別して労働者

を屈服させようというのだ。敵の、恐怖感を与えようという攻撃にはストライキしかないのだ。

である以上、強制出向攻撃に対するスト権一票投票の圧倒的成功と出向を粉碎することに成功するならば、その次は強制配転などに対する年間スト権を確立し、差別・選別攻撃には組織をあげて「ストで闘うぞ」という体制で対抗するならば、敵も一方的な業務命令ができなくなる状況を創ることもできるのだ。

そういう意味で今回のスト権一票投票は、勤労千葉に結集する組合員はもとより、東日本や全国の労働者にとって重要なポイントになる。

スト権一票投票という「闘い」に、全支部は目の色を変えて取り組み圧倒的成功をかちとろうではありませんか。

この二週間、勤労千葉の命運をかけて決起し、職場のふん囲気を一掃しよう！！

スト権一票投票の実施について

- 一 日程
 - 投票 八月十七日（月）～二十三日（日）
 - 開票 八月二十四日（月）
- 二 投票管理委員会
 - 勤労千葉本部・支部執行委員会
- 三 投票
 - ①所定の用紙に、ストライキ実施賛成は「○」反対は「×」を記入し、支部投票管理委員会の指定する投票箱に投票する。
 - ②各日の投票時間は支部投票管理委員会で指定する。
- 四 投票用紙
 - 本部投票管理委員会が作成し、各支部投票管理委員会へ送付する。
- 五 開票
 - ①八月二十四日、十三時より、動力車会館で行う。各支部一人が立ち会うこととする。
 - ②結果は、開票終了次第発表する。